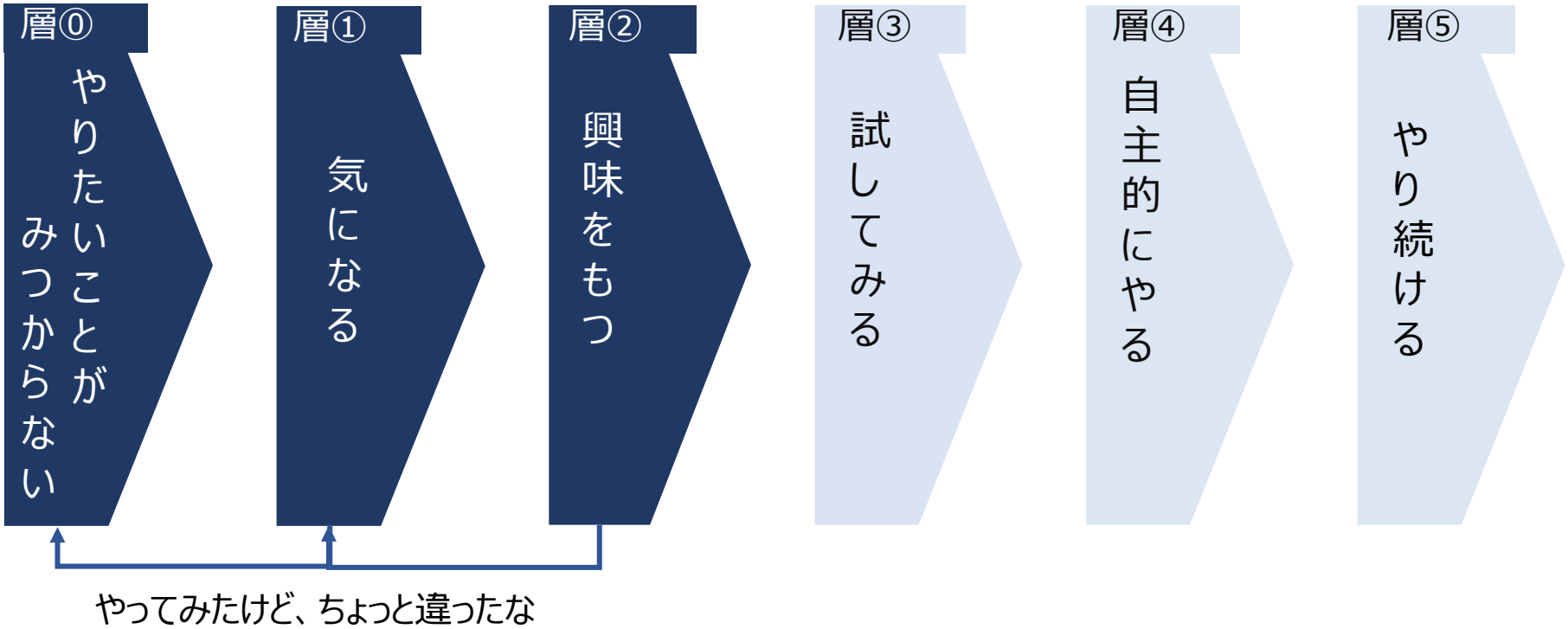
おしプロの狙い

- 層⓪～②の生徒が、放課後や休日を使い「やってみたい」「好き」を見つけられる環境をつくる
- 「１回出て、つまらなければまた違うプログラムに出てみればいい」という路線で、色んな分野のライトなプログラムを数多くつくる

生徒の興味関心の形成度合いと変遷



Copyright © Yuto Takeuchi